

平成29年度第2回(英語教育・法律・政治・国際関係学・コミュニケーション関係学)グループ合同会議議事概要  
(英語教育・法律学)FD/ICT活用研究委員会  
CCC(政治学・国際関係学・コミュニケーション関係学)グループ運営委員会

- I. 日時 : 平成29年10月29日(日) 15:00~17:00  
II. 場所 : アルカディア市ヶ谷(私学会館)7階 妙高  
III. 出席者 : 英語教育FD/ICT活用研究委員会 田中委員長、松村委員、吉田委員、原田委員、  
五十嵐アドバイザー  
法律学教育FD/ICT活用研究委員会 加賀山委員長、執行委員、吉野委員、中村委員、  
高嵩委員、笠原委員  
CCC政治学グループ運営委員会 川島委員  
CCC国際関係学グループ運営委員会 林委員、佐渡友委員  
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

#### IV. 議事概要

##### 1. 開催要項の確定

前回(第1回合同会議)の議事を振り返り確認したのち英語教育の田中委員長の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容の検討を行った。各分野から報告された話題提供案について協議し、また意見交流のテーマ内容の確認と具体的な進め方についての協議確認を行い以下のとおり決定した。

##### (1). 話題提供の内容説明、協議と決定事項

###### ① 英語教育・コミュニケーション関係学分野

- ・ループリックを学生と共有し、ICTを用いて多面的な評価を行うことで主体的な学修に結び付けている事例紹介をおこなうことを確認した。

(話題提供者) 小泉 利恵 氏 (順天堂大学 医学部准教授)

(タイトル) 「対話能力向上に向けて評価基準を学生と共有し、多面的な評価を行う取り組み」

(内容) 英語のコミュニケーション力、知識・技能、表現力を高めるため、対話力と説得力に焦点を当てたグループ学修を実施し、評価基準(ループリック)を学生と共有し、ICTを用いて教員による評価、学生による自己・相互評価などを多面的に行うことで主体的な学修に結び付けている事例を紹介

###### ② 法律学分野

- ・ネット上にフォーラムを作り学生に議論させることで、分野横断型のボトムアップ式の授業モデル提案を行うことを確認した。

(話題提供者) 中村 壽宏 氏 (神奈川大学 大学院法務研究科教授)

(タイトル) 「ICTを活用した分野横断フォーラム型授業の提案」

(内容) すべてを一人の教員が担う授業の弱点を補い、具体的な事実から理論へ繋げるボトムアップ式の教育(思考力・判断力・表現力等の育成)に向けて、法律と他分野が絡む社会の問題を取り上げ、複数分野の教員が参加してネット上にフォーラムを作り、学生に議論させる分野横断型の授業モデルの提案。

###### ③ 政治学分野

- ・ICTを用い、学生が課題に対して多面的に議論することで多様な価値観について学ぶアクティ

ブ・ラーニングの提案を行うことを確認した。

(話題提供者) 川島 高峰 氏 (明治大学 情報コミュニケーション学部准教授)

(タイトル) 「社会の変容に耐えられる多様性教育のアクティブ・ラーニングの提案」

(内容) 現実の事象を政治学の基本概念で整理し、課題や問題点を考えさせるために留学生などを含めたグループでICTを用いて多面的に議論させることにより、異なる価値観をもった他者との共生を理解させるアクティブ・ラーニングの提案。

#### ④ 国際関係学分野

・学生に現実の国際的な課題に対しICTを用いて議論させることで、思考力、多様性、協働性を高める授業モデル提案を行うことを確認した。

(話題提供者) 林 亮 氏 (創価大学 文学部 教授)

(タイトル) 「海外の学生と議論を通じて思考力、多様性、協働性を高めるアクティブ・ラーニングの提案」

(内容) 中国、東アジアの留学生と安全保障、核問題などの政治的に微妙な問題について、ICTを用いて自由闊達な議論を展開するために「物語の空間」を準備し、基本的な知識、文化、ナショナリズムの違いを越えて多様な価値観を理解させるアクティブ・ラーニングの提案。

#### (2) 意見交流について

意見交流のテーマを以下の4項目に決定するとともに、対話集会当日の役割分担を決定した。

今回の対話集会では、参加申込者へのアンケート結果を活かし参加者との積極的な意見交流や、認識の共有を目指すことなど開催要項の詳細を決定した。なお、委員は対話集会における具体的な進め方(シナリオ)を検討する。

- ① 「学力の3要素」を高めるICTを活用した教育・学修方法の工夫・改善
- ② 授業科目の相互改善を促進するための仕組みとICT活用
- ③ 知識の創造を目指す分野横断型フォーラム授業の必要性
- ④ ICTによる外部評価モデルの必要性と仕組み

#### (3) 開催日時と場所

開催日時：平成29年12月23日(土) 14:00～17:30

開催場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館

#### V. 今後の予定

事務局は委員にアンケート集計結果を報告し、進行役委員は運営シナリオをまとめる。次回是对話集会とし当日、事前打合せ会を実施することを確認した。